

表紙裏(新しき世界へ 1970 年 3 月号)

私は精神の超時間性、超空間性を知る。我々の「肉体」は限られた時間という鉄の鎖に束縛され、限られた空間という金檻の中にいるけれども、我々の「精神」は無限の時間と無窮の空間に遊ぶものであることを知っている。我々の精神は全体なのである。肉体はその部分に過ぎないのである。我々の肉体は丁度ラジオの受信機のようなものである。それは全宇宙に充滿している電波の一部分を受けて物語るのである。

(食養人世読本より)

本文の複写、複製、転載、その他いかなる方法による使用の際には日本 CI 協会にご相談ください